

南野 利江

12月例会 議事録

日時： 令和5年12月7日(木) 14:00~15:10

場所： おにクル7階 市民交流スペース

出席：13名 入交 川本 阪田 阪田悦子 笹嶋 杉田 鈴木 清野 中村 南野 藤原 牧
吉田

- 1 入交会員より施設の案内と説明があった。人の動きを感じる開放的な空間になっている。大いに利用してほしい。 1月13日(土)餅つき大会、2月3日(土)まめまきが行われる。
- 2 11月29日(水)石山寺周辺を散策した。15名参加 企画・案内は 牧会員
- 3 12月15日(金)忘年会として京都河原町周辺散策 昼食は「東華采館」
10時45分 阪急茨木市駅集合 街ing参加者10名 パソコン10名 計20名
費用7,260円の内 1,260円を補助 集金は6,000円 集金：阪田悦子 支払い：清野
- 4 来年4月のお花見 京都植物園 4月3日(水)担当：長谷川
案内は街ingニュース2月号(1/20発行) 締め切り：1月31日 パソコン2月7日
- 5 5月の行事は 島本町天婦羅御膳など 日程は未定
- 6 6月の行事は 長岡京 山崎 ビール工場 聴竹居など 日程は未定
- 7 街ingニュース 1月号は12月25日頃に発行
今後の例会 1・2月は例会なし 3/7日(木)川本宅 4月なし
5/9日(木) 6/6(木) 7/4(木) 8月なし 9/5(木)



以上

市長面談

杉山 英俊

10月5日(木)の街ing いばらき例会において、福岡市長と面談の場があり、私も耐震や防災について発言の機会を頂きました。以下、その内容をまとめてみました。

● 木造住宅の耐震化について

・ 大きな震災が起こるたびに耐震診断の依頼が増え、時間がたつとほとんど依頼がなくなる。耐震を考えるのは震災が起こってからではなく、本来は起こる前に対処すべき問題で、震災後は耐震診断も補強工事も技術者、施工者が不足し対応できなくなる。

・ 耐震診断は、決まった計算式にのっとった計算で、耐力壁がどのくらい不足しているのか診断する方法なので、家の隅々まで全てが判断できるわけではなく、補強するための目安であり、結果が良いから絶対倒壊しないと言うものではない。

・ ある程度の年代の家は必ず診断結果がNGとなる。「とりあえず今の状況だけ知りたい」と診断すると、必要耐力の0.2などの数字が出る人が多いので、補強の予定がないなら不安だけが残る。

・ 常時から、茨木市と地元の建築士や施工業者との連携を行い、研修などで技術の向上や情報の交換をはかる事も必要では。

・ せっかくオニクルが出来たので、その一角に防災コーナーを作り、耐震も含めた情報の展示や補助金の告知を行ったり、住宅の持ち主が気軽に相談できるようにすればどうか。

● 自主防災会について

・ 非常時にどう動くか、常時から体制を作る事が大切であり、防災訓練を行っても、内容が形骸化していたら役に立たないことが多い。非常時に何が起こるかを予測して準備や訓練を行う必要がある。たとえば非常時にはインフラが止まる事が多く、その前提で炊き出し訓練などを行う方が良い。

・ 自主防災会が地域の医師、看護師、職人、消防士、建築士などの情報を把握し、非常時に協力してもらうような体制づくりが必要ではないか。常時においても、救命の方法、耐震について、倒壊家屋からの救出方法などの研修などを行ってもらう事もできる。

・ 市から、防災準備や防災訓練などの具体的な方法を指導して頂けたらありがたい。

これらの提言に対して、福岡市長は真剣に耳を傾けて頂いていたように感じました。貴重な発言の機会を頂戴し、ありがとうございました。

おにクル開業

阪田 浩

11月26日(日)おにクルがオープンしました。おにクルは、ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなど、多くの機能が入る複合施設で、正式名は「茨木市・子育て複合施設」です。7階にある市民活動センターは市民活動を応援する組織で、愛称は「きゃぱす」。英語の catch(しっかりとつかまえる)と pass(ボールを渡す)を組み合わせた造語です。市民活動センターはこれまで、クリエイトセンターにありましたが、おにクル移転を機に愛称を募集しました。街 ing も市民活動団体のひとつとして「きゃぱす」の会員になっています。街 ing 会員の入交さんは「きゃぱす」のセンター長をされています。

街 ing の12月例会は、新装なったおにクルで実施しました。13名が参加し、「きゃぱす」内の市民交流スペースを使用させていただきました。周囲に壁のないオープンスペースです。周りの音が聞こえますが、机と椅子を参加人数ぶんだけセットできますので、少人数の会合には適しています。例会に先立ち、入交さんに7階フロアを案内していただきました。屋上広場は大勢の子供達で賑わっていました。会議室はやミーティングルームは今後の活動で使用できそうです。7階からの眺望は茨木の街並みがよく見えました。

おにクル1階のカフェ「ティ・コ・ラッテ Terrace」は寝屋川に本店を置く生ケーキや焼菓子の人気店が営業しています。茨木市内の野々宮にも店舗があります。ティは紅茶、コはチョコレート、ラッテはイタリア語でミルクの意味です。今のところ来店者が多く入りづらいのですが、1月になればすくでしょうから味わってみたいです。5・6階は「おにクルブックパーク」という図書館です。座る場所がたくさんあって読書を満喫できそうです。7階のプラネタリウムは「隠れ屋感」をうたい文句にしています。このプラネタリウムも1月になってからの行くのがよさそうです。街 ing では、10月5日に福岡市長に来ていただきこれからの茨木について語っていただきました。市長はおにクルを使いまわしていただきたいと強調されていました。おにクルの前面に広がる芝生広場では各種のイベントも企画されています。当面はおにクルで茨木の文化を楽しむことにしましょうか。



東華菜館から五条楽園・東本願寺まで

高瀬川沿いの京都を散策

実施日 2023年12月15日(金)

参加者 街ing10名 川本 阪田 阪田悦子 杉田 鈴木 清野 中村 南野 牧 吉田 パ
ソコン10名 計20名

京都四条通には、鴨川を挟んで「東華菜館」と「菊水」の建物が独特の意匠を競っています。ともに京都における中華料理と西洋料理の草分けです。「東華菜館」は戦前にビアガーデンとしてとして開館しましたが、戦後は中華料理店に替わりました。「東華菜館」はテレビのお天気番組でよく画面に映る場所としても知られています。今回は、この「東華菜館」で昼食。そのあとは高瀬川沿いを南へと散策し、街ingの忘年会を楽しみました。企画、案内をしてくださりました牧さんと南野さんに厚くお礼申し上げます。

東華菜館屋上での記念撮影

バックは東山。

屋上へはエレベーターと階段で行きました。当日は雨上がり直後。比叡山はかすんでいましたが、東山はきれいに見えました。屋上のビアガーデンはコロナの影響もあり現在営業していません。2024年の夏に開業すればマスコミの話題になりそうです。



貸し切りの昼食会場

当日のメニュー

- 種々前菜の盛り合せ
 - カニ入りフカヒレスープ
 - 揚げ物二種
 - 海鮮類の強火炒め
 - エビの唐辛子炒め
 - 鶏肉の紹興酒香り付け炒め
 - 水餃子
 - 餡入り揚げ餅
 - アンニンドウフ
- 最高ですね。

東華菜館はヴォーリズが手がけた唯一のレストラン建築です。シンプルな直線と曲線を組み合わせた天井、梁の装飾が目を楽しませてくれます。また、大正 15 年竣工当時の姿を残しています。蛇腹の内扉のついたエレベーターは米国オーチス製で今も現役で稼働しています。



江戸初期に木材などの運搬を目的に開削された高瀬川は、開通以後、伏見や大坂を結ぶ交通の要衝となりました。まちの発展に伴い、高瀬川を行き来する人々に向けた複数の遊里(ゆり、遊女屋が集まっていた場所、江戸の吉原、京都の島原、長崎の丸山など)が自然発生的に形成されていきました。五条楽園は平成 22 年まであった花街(はなまち、芸者屋、遊女屋が集まっている町)でした。写真の五条会館には、「お茶屋組合」と「置屋組合」が入りこの地区の中心的存在の建物でした。歌舞練場としても使用されていましたが、現在はその役目を終え、入札物件となり、建物の命運は落札者の意向に委ねられています。



東本願寺。
西本願寺は秀吉により現在の寺域を寄進されました。東本願寺は、1602 年に徳川家康から現在の寺地を与えられて建立されました。四度に渡る火災がありましたが、その度に再建。現在の建物は明治 28 年に建立されました。度重なる火災があり、世界遺産の指定基準を満たしていないともいわれています。それにしても圧倒的スケールでした。



《伏見稲荷大社》

笹嶋節子

私は10月に地域のバス旅行で伏見稲荷大社を訪れました。観光シーズンでもあり海外の観光客でとても混雑していました。伏見稲荷大社は都が京都に遷る前の和銅4年（711）に渡来系の秦氏の子孫・秦伊呂具（はたのいろぐ）が稲荷大神を稲荷山に祀ったことがはじまりだそうで、全国各地に祀られている稲荷大社の総本社だそうです。もとは農耕の神様として祀られていましたが、中世から近世にかけて「商売繁盛・家内安全・諸願成就」の守護神として広く信仰されるようになり、元旦には朝早くから多くの人を訪れるそうです。

また千本鳥居は鳥居を献ずることによって願いが通る（叶う）という語呂合わせから生まれた信仰らしく、願いが通るたびに感謝のしるしとして鳥居を大きなものに変えて奉納する風習が江戸時代後期頃より広がり現在の千本鳥居ができたそうです。鳥居の数は数え方にもよりますが稲荷山全体で約1万基ほどあり、そのうち千本鳥居は約800基ともいわれています。そして伏見稲荷大社にはあらゆるところにたくさんのきつね像が見られますが、いなり大神様のお使い（眷属：せんぞく）は“きつね”とされていて、その狐は野山に居るものではなく、我々の目には見えない“きつね”であることから白狐＝“びゃっこさん”と言って神秘的な動物として崇められています。その理由は、狐の尻尾がみのる稲穂を連想させ外見や習性が神的な存在を思わせた。また春から秋に水田に姿を現すことから田畑を見守る神と考えられたなど・・・諸説があるそうです。またきつね像が加えている宝具「稲穂・鍵・玉・巻物」にはそれぞれの意味があり、稲穂は稲荷大神が五穀豊穡の神様であるため五穀豊穡の稲穂をくわえています。玉、鍵は「玉鍵信仰」（たまかぎしんこう）に由来するといわれ、玉は稲荷大神の「霊徳」（れいとく・非常に尊い徳）を象徴しており、鍵はその霊徳を身につけたいという「願望」だそうです。そして狐が玉と鍵をくわえているそれぞれの姿は、神徳が狐によって人間に運ばれ、また人間の願望を預かって稲荷大神へ届けようとする信仰を象徴しているようです。ほかにも鍵は「倉庫の鍵」、玉は「穀物の倉庫」という意味もあるそうですが・・・。巻物は「知恵の象徴」といわれ、どんな願いも叶うという稲荷の秘法を表す

シンボルともいわれています。そしてそれぞれ他にも諸説あるようです・・・

伏見稲荷大社に行かれることがありましたら狐の口元にも目を向けてみてください。





94歳のクラリネット奏者：北村英治

杉田 宗三

11月7日(火)19時からザ・シンフォニーホールでアロージャズオーケストラの定期演奏会が開催され聴きに行きました。今回は120回目となる記念演奏会のため、クラシックオーケストラの大阪交響楽団を迎え「異ジャンルオーケストラとの共演」と題して開催され、また特別ゲストとして日本で最長老の現役ジャズミュージシャンであるクラリネットプレーヤー北村英治を迎え、他では聴く事の出来ない特別なコンサートとなりました。

親しみのあるポピュラージャズでの2時間ほどはとても楽しくあっという間でしたが、特に感動したのはやはり今年94歳の北村英治氏の演奏でした。紺系の背広で身を固め、背筋がピンッと伸び年齢を感じさせないと共にクラリネット演奏も他の若いメンバーに負けない迫力で、ザ・シンフォニーホールの1～2階満席の聴衆を感嘆させていた。北村英治の舞台での演奏は1時間ほどあり、曲によりジャズ演奏特有のジャンプしながらの演奏も皆と併せて行っていた。足が床から離れたかどうかと程度だがそのプロ意識は流石で、圧巻の演奏でした。

コラボした大阪交響楽団のメンバーも北村英治を直ぐ近くで見るのは初めてという方が多かったようで、その迫力ある演奏に驚いている様子が見て取れました。

なお、この夜のザ・シンフォニーホールのイルミネーションもきれいでした。



《北村英治のプロフィール》

1929年4月生まれ、東京府出身、慶應義塾大学在学中にクラリネットを学び、22歳でプロデビュー。

30歳の時、憧れだったベニー・グッドマンが来日した際には彼の目の前で演奏し、賞賛を受けた。

2007年4月、旭日小綬章受章。

2012年に心筋梗塞で倒れ、入院したが後遺症などはなく退院した。

次回のイベント

街歩き 4月3日(水) 京都植物園 行程と集合場所は新年のお楽しみ

==== 次回『街ing いばらき』例会のご案内 ====

日時： 令和6年3月7日(木) 14:00~16:00 1月と2月の例会はなし。

場所： 川本本店 茶論「縁」(サロン「えん」)

- 内容：
1. 12月15日(金)の河原町・高瀬川周辺散策の振り返り
 2. 4月3日(水)のお花見
 3. 5月と6月の散策 他

『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



《 編集後記 》

- 2023年が終わります。街ingでは4月近江八幡、5月芦屋、6月綿業会館、10月京都迎賓館、11月石山寺、12月東華菜館の街歩きを実施。10月には福岡市長との懇談会も実現しました。楽しい思い出を残せたのではないかと考えています。無事故であったことも何よりでした。
- 一年間のご愛読、ご参加ありがとうございました。よいお年をお迎えください。そして新年もどうぞよろしくお願いいたします。

《 編集・発行 》

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ingホームページ : <http://wwa.machiing-ibarakiki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2023年12月現在の訪問者は10,100 <前月比20の増加> となっています。

